

2022.7月 女性チャレンジ応援拠点だより



コラム

あと半年、疾走！

6月中にまさかの梅雨明け、今年は長い夏になりそうです。バランスのよい食事、十分な睡眠、適度な運動がいつもより大切ですが、どれもうまくいかないのが夏。いろいろな対策をネットやテレビの情報番組で提供しています。あの手この手で体調を保ち、長い夏を乗り切り、実りの秋を迎えたいものです。

さて、『チャレンジ再発見一思いのほかあなたを拓くアプローチ』を続けていきましょう。今月3回目のトピックは、「憂鬱になること、気後れすることほど、大事なこと」です。

先月の例のように、自身はすぐにもチャレンジする気、でも家族の反対にあう。場合によっては、「一緒にやろう！」と言っていた仲間や、あてにしていた賛同者から「今はちょっと…」をしり込みされるケースもあります。やる気満々だっただけに、落胆は大きい。ガックリきて、意気消沈して、途方にくれてしまっていますが、ここからが肝心。あなたとあなたの周りの人たちの未来に関わることです、慎重に〈身のふり方〉を見極め、判断・決断いたしましょう。

先月の例の方は想いの実現を5年後に延ばされました。一つ言えることは、「無理は禁物」。自分の想いはカタチになっても、結果的にまわりの人に無理を強たなら、追って何かしら弊害が現われます。小さな不満や反発が何かの拍子に表に出て、直接的、間接的問題を引き起こします。

でももし、気持ちも体も動いてしまって、どうしても先延ばしできない、延ばす気にならないとしたら…。そうだとしたら、自身にとってはよいタイミングに違いありません。パフォーマンスを最大限に発揮でき、ハードルを乗り越えるパワー・力もみなぎって

いるはず。そのパワーをしなやかに、大らかに発揮して、知力と気力を総動員し、労力を惜しまず、まわりの人の理解につなげましょう。

その「まわりの人」のうちでも、ごくごく身近な家族・兄弟姉妹が相手となると、対外的な交渉ごと以上に憂鬱、億劫、気後れすることかもしれません。それでも話し合いの場は必ず持たなければならないでしょうから、“しなやか”、“大らか”を心がけ、気持ちを柔軟にして、状況を細かく組み立てていきたいものです。

話し合いの場の設定自体、家族全員に居合わせてもらうのか、それとも段階を踏むのか、そもそもどういう風に話し合いの場を申し入れるか、切り出すか、等々。

ひょっとすると、今まさにこういう局面にいる、という方もいらっしゃるかもしれません。紙面の関係でこの続きは次回になりますが、急を要する方は、どうぞ「女性チャレンジ応援拠点」へお立ち寄りください。スタッフが一緒に「段取り」を考えます。そして、早かれ遅かれいずれ自分の想うことでチャレンジ！をめざすみなさんのご利用をスタッフ一同お待ちしております。



女性チャレンジ応援拠点

場所：大阪市天王寺区上汐 5-6-25 クレオ大阪中央 4階
電話&ファックス：06-7659-9640
メール：women-kyoten@danjo.osaka.jp
運営：大阪市立男女共同参画センター中央館

※ 開室日

※ 日・月曜日、祝日、祝休日の翌日は休室

火	水	木	金	土
10:30 ? 12:30	18:00 ? 20:00	13:00 ? 15:00	10:30 ? 12:30	13:00 ? 15:00

※ 開室時間内は自由に出入りいただけます。
お気軽にお立ち寄りください。

